

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	呉市立和庄小学校	校長氏名	徳本ひとみ	生徒指導主事氏名	寺田 茂雄
-----	----------	------	-------	----------	-------

**取組事例名 『子どもボランティア活動』**

**取組のねらい『キーワード：自尊感情の向上』**

- ア ボランティア精神を養う体験的な活動を通して、学校や地域社会に貢献し、自らを豊かにし、進んで他に奉仕しようとする態度を育てる。
- イ 児童が諸課題を見だし、協力して解決していく中で、望ましい人間関係を形成し、よりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
- ウ 児童の行動面や態度面を肯定的に評価する機会を工夫し、児童の自尊感情を向上させる。

**取組の具体的内容『キーワード：シンプル』**

- 本校にはこれまでも、運動会や学習発表会の準備など、行事の準備等で4年生以上の児童が活動する場が多くあった。これらの活動が中学校区の「育てたい児童生徒像」として示した「和庄中学校区スピリット」の「人を助け、学校や地域社会に貢献する児童生徒」につながることを意識した取組を計画した。
- 日々の清掃や委員会の活動では、時間や人手に限りがあるため、十分な清掃や整頓ができていない実態があった。これまでは不足分を一部の児童が負担していたが、これを全校児童で分担し、解決することを計画した。
- 全校で落ち葉拾いに取り組み、それを中学校区で行う「クリーン活動」につなげた。

**【取組の流れ】**

- ①ボランティア活動の内容、日時を決定
- ②児童に①を周知し募集を始める。(活動該当の学級に児童会児童が活動内容を説明)
- ③参加者名簿に児童が記名する。
- ④活動実施
- ⑤評価(児童一人一人の活動の回数や様子を記録)

**【これまでの活動】**

全校 秋の落ち葉拾い・クリーン活動

1年 落ち葉拾い

2年 図書室の本の整理

3年 落ち葉拾い・外階段の清掃

4年 落ち葉拾い

5年 階段の清掃

6年 落ち葉拾い・図書室の清掃・ストーブの運搬



4年生 落ち葉拾い



5年生 階段の清掃

**【児童の様子】**

- ア 活動の周知を楽しみにしている児童が多い。職員室前に次回のボランティア活動が掲示されるとこぞって参加名簿に記名している。友達に誘われて参加する児童や、当日になって参加する児童も受け入れている。
- イ 児童は、教職員から褒めてもらったり、「ありがとう」と感謝されたりすることが嬉しいようだ。
- ウ 5年生の階段の清掃では、時間内にきれいにできなかったため、自主的に清掃したいと提案する児童がいた。また、その提案に賛同する児童もいた。児童は「これが本当のボランティアです。」と言っていた。

## 取組の課題・創意工夫『キーワード：継続』

### 1 課題

- ア 「子どもボランティア活動」は一時期に集中して行うのは適切ではない。入学から卒業までの6年間を通して、継続していくことが望ましい。
- イ 活動を評価することは児童の自尊感情や意欲を向上させるが、児童が評価されることを目的に活動を行うことはふさわしくない。

### 2 創意工夫

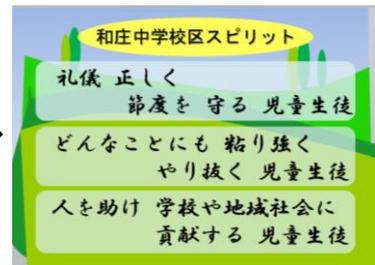
- ア 「子どもボランティア活動」を「和庄中学校区スピリット」と連動させている。
- イ 多様な評価方法を設けている。(口頭評価, なごみ賞など)



ボランティア活動



評価



和庄中学校区スピリット



広がる, 深まる

## 取組の成果（効果）『キーワード：浸透』

- ア 児童が活動している姿を他の児童が見ることで、お互いがよい手本になっている。
- イ 取組が児童に浸透し、広がりつつある。
- ウ 児童が自主的に清掃活動等に取り組むことができた。
- エ 友達と協力することができた。
- オ 教職員から肯定的評価を受けることで、よりよい関係が築けている。

## 今後の展開『キーワード：広げる』

- ア 期待すること
- ・児童が自主的にボランティア活動を計画し、継続的に活動する姿。
  - ・ボランティア活動が全ての児童にさらに浸透すること。
- イ 改善すること
- ・ボランティア活動の年間計画をつくる。
  - ・校務分掌の位置づけ, 組織的に取り組む。

## 他校へのアドバイス『キーワード：相乗効果』

- ア 児童の活動状況を掲示物にしたり, 具体的にほめたりしながら, 肯定的に評価する機会を充実させることで, 自尊感情の向上を図りましょう。
- イ 特別活動として取り寄せたことをきっかけに, 自主的な参加を呼びかけていくことも大切です。
- ウ 取組が継続できるように, 見通しを持って組織的に取り組むことが大切です。